



●のなかもよ 1954年6月18日東京生まれ。上智大新聞学科卒後、米コロンビア大学でフォトジャーナリズムを専攻。上智大大学院修了後、フリー記者を経て、NHKのキャスターとなる。結婚は88年に米国法人の証券会社勤務の尾関友保氏と。

人類が何万年もかけてやってきたことの 「今度はあなたが当番よ」と思えた時 育児ノイローゼから脱出できました

野中ともよさん(キャスター)

’88年ソウルオリンピックで、NHKの現地メインキャスターを務めたことが記憶に新しい野中さん。最近お見かけしないなと思っていたら、’89年11月28日に出産した長女・まりなちゃんの子育てまっ最中♡
「今年の4月には復帰する予定が、子どもから離れられなくなっちゃったの」とおっしゃる才女ママぶりをレポートいたします。

——1歳9か月(取材時)ですとかわいい盛りですね。そろそろ単語を並べてしゃべり始めてますか?

野中 あ、もう全部しゃべります。「きょうは雨こんだからね、ママイ、気をちゆけて。大丈夫？」ですとかね。

——えー、もうセンテンスでしゃべるんですか。何か特別な教育をなさってますか?

野中 いえいえ全然。ただ私が音楽が好きでいつもCDをかけているせいとか、彼女もすごく音楽が好きなんです。いまパパロッティに凝っています。パパロッティのオペラなんか、月八〜八八〜って歌います。童謡も、「もう一回〜」「もう一回〜」って私に歌わせますし。

——歌から言葉を覚えたんですか。

野中 きっと耳がいいんだと思いますね。

学生の方はテスト、仕事の方は効率、能率、 そんなものさしばかりの生活から一転。 娘は違うものさしを教えてくださいました

——いまお子さんはどなたが見てらっしゃるんですか。

野中 私ノふだんは野中さん。(笑)

——きょうみたくにお仕事の時はず

野中 それがたまたま好運なことに、出産半年前くらいから私のアシスタントをしてきてくれた女性が保育学科卒業で、私のところへ来る前は幼稚園で水泳を教えた先生でした。その彼女が見てくれてましてね。助かります。

——いまお仕事はどのくらいなさってますか
野中 テレビのお仕事はまだ全部休ませていただいています。月刊誌や週刊誌に書評を書くことは陣痛でウンウンうなりながら書いていた記憶がありますから(笑) すつとお休みなく続けています。いまは月に5〜6日かしら、コーディネートをしたりとかで外に出るお仕事は。——やっぱりそれはお子さんのそばにいたいってあげたいと思われて?

野中 はい。もちろん人に預けて仕事をするとこの選択もあると思うんですよ。人それぞれの考えの中で。でも私はもったいないと思うの。こんなに大変だけれど……育児って大変ですよ。外のお仕事の方が数10倍も楽。(笑)

——野中さんみたいに第一線で働いてるかたでもそう思われますか?

野中 それはもう。でもね、私はいま、子育てしてるというよりも、私の方が青

てもらっていますね。何ていうのかしら大げさにいうと人生感とか地球感っていうのも変わりました。例えば仕事っていうのはone of themですよ、生きるという営みの中では。でも戦後の私たちの世代では、経済性とか合理性とか効率が上がることは大切なのことのように言われてきました。

——そうですね。勉強していい成績を上げることがいざばん、みたいに。

野中 学生の方はテスト、お仕事の方は例えば視聴率というもので努力した結果が数字に置き換えられて返ってきて、それを見て安心したりガツカリしたり。そういう「ものさし」しかなかったわけですよ。それで同じように子どもがおなかの中で大きくなるにつれて、「よし、いいママになってやるゾ」っていうプロジェクトになったわけです。(笑)

——そのための勉強をなさった!?

野中 もう育児書は何10冊読むわ、布おむつの折り方はアメリカ式、ヨーロッパの伝統式、日本のT字帯式とマスターするわ。でも育児だけっていうのも煮詰まるから家でできる翻訳のお仕事は受けて出産後もやっていましたね。でも、「あなたに寝てくれたらママはお洗濯しながら翻訳ができるのよ」って、子どもに言えば言うほど寝てくれないんです。

——ああ、わかるんですね、お子さんにも。

野中 そう。で、「もう締切りなんてどうでもいいや、ママは24時間あなたのものよ、一緒に遊ぼう!」ってやるとスヤスヤ寝てくれるのね。

——安心するのね。まあかわいい。

野中 彼女に教えられたいちばんのことは、お日さまが昇ったら起きて沈んだらネンネして、おなががすいたらいたいたいって、人の命っていうのはそうやってはぐくまれてきたんだな。そしてそれは悠久の流れの中の「それがひとつのものさしなのよ、マミー」って。「効率とか合理性なんていうものさしは陳腐でちゃんちゃらおかしいわ。いかに狡猾に合理的に時間を使って、仕事との両立を考えたように、そんなお行儀のいいこと、ママやめてちょうだいな」って。そんなことを言われたように思いましたね。

——私たちってマニュアル通りに努力すればマニュアル通りの結果が得られるように教わってきた部分がありますものね。
野中 外の仕事では徹夜して原稿書いてそのままレポートしてって、そういうこともやりますけど、でも「はい、お疲れさまでした」、あるいは原稿を入稿したとたんに関心されたら「泳ぎたいだけ泳いで。トリートメントしてもらってすっきりして、メイクアップしてもう一回きれいになっ



分かってても分からなくても何でも説明するのよってこと ききました。離乳食も「どっちがいい？」って選ばせて

——生後7か月で初めて外に出る仕事を
受けられたのでしょうか。その時のまちな
ちゃんの反応はいかがでした？

野中 シンポジウムのコーディネーター
の仕事をお引き受けして、お昼前に出か
けて夕方主人と待ち合わせて一緒に帰宅
したんですね。そしたらパパには笑うの
に私とは目を合わせてくれないんです。

て、「よおし、やるぞ！」ってできるけど、
子育てってグチャグチャのまんまでしょ。
——髪の毛をとかす暇もないですもの。

野中 そう。ここへ、おなかをさすは
おデブだし、ホルモンのバランスがくず
れて髪の毛はゴソッと抜けるし。そんな
日々の中で仕事で頑張ってたあの時の自
分を出そうとするとパニックになるんだ
と思います。

——育児ノイローゼになっちゃった。でも
野中さんはならなかったのでしょうか？

野中 いえ、なりましたよ私も。でもね、
「あせらないで、人類が何万年もかけて引
き継いできた作業のあなたは当番なのだ
もの。やってごらんさい、自分が見え
てくるわ」、そういう目で自分を見始める
と本当に見えるんですね。育児ノイ
ローゼってホルモンのバランスがくすれ

——ああ、パパは出かけて帰ってくるの
が当たり前だけだ。

野中 そう。でもママはなぜ私を置いて
外へ出ていったの？って顔でね、あごを
上げて「イとすねてるの。すねるって感
情は、笑うとか泣くとかいう感情より少
しひねってますでしょ。だからこの子は
感受性がすごく鋭いんだと思うんですね。

るからだれでもなると思っています。でも
寝たきりからハイハイができて、両足で
立って、言語を持って、文化に親しんで
自己を主張して、いろんな状況に自己を
対応させていくというのは何万年の人類
の歴史を育児って体験できてしまうん
ですよ。

——そうですね。

野中 やらない手はありません。(笑) あ
と10年経ってからはやもつできない。こ
の何年かですよ。そういうことを考える
ようになって、この4月からのテレビの
お仕事、いただいていたんですけどやっぱり
やめました。

——初めて立った、歩いた、しゃべった
って時を見逃したくないですね。

野中 しかもその感動はぶだん一緒にい
るからこそ強く感じられるんですね。

だからすぐ着替えて、もうグチャグチャ
になって遊んだんです。そしたら途中か
ら目を見てニコって笑ってくれて。です
からいまもカイロプラクティックに行く時
など、「ママね、お腰と肩がイタイ、イタ
イだから先生にバキバキってやって治し
ていただくから、それでお出かけするか
らね」って話すの、じっと聞いて、「先



生、イタイ、イタイ、ね。マミイ大丈夫、
いってらっしゃい」って。

——まあかわいらしい。

野中 私が話すことを真剣に聞こうとする
んですね。だからこちらも、もっと小
さいころから、分かっても分からなく
ても全部説明するようにしてきました。
離乳食も「ピーチにする？それともバナ
ナ？」って見せて、ニコっとする方をあ
げたり、自分で選ばせるようにしてき
たんですね。

——ああ、びんづめのを？

野中 いえ、全部手作りでしたから、す
りおろす前に見せるんです。インスタ
トのは、ごうもね。

——でもたくさん育児書をお読みになっ
て、いろんな説があつて迷つたりもな
つたでしょう。

野中 本当にね。私の母の頃は卵や肉や
お豆腐を食べさせなさいって言ってい
たのがいまは三悪食品としてすべて否定さ

れてますでしょ。どの本を見ても少しす
つ違うことを言ってますし。ですからマ

スコミにふり回されてドギマギするのは

自分がバカなんだと——ま、送り手がこ

ういうのも何ですが(笑)——いずれに

してもいまの日本の食糧事情では完璧に

いい食品は望めませんから、結論として

は、同じものを大量に摂らない、くり返

さないでバランスよくいただく、少しで

も悪いといわれるものが入っていないも

のを選ぶようにしています。

——アトピーはいかがですか？

野中 もうおかげさまで、私がアトピー

体質なのになかったんです。私はね、

テレビの本番が終わると背中や顔や胸の

あたりにバーっってしっしんが出るんです。

つまらない価値感に振り回され、規格製品のようない どもを作るために、私は十月十日頑張ったんじゃない

——天気の良い日はまりなちゃん公園
に行ったりしてらっしゃいます？

野中 ええ、お散歩します。いま青山に
住んでいるんですけど、あんな都会のま
ん中にも大きなお庭があるんですね。ク

レーン車にシートがかぶせてあるのを見
て、「ビッグなクレーン、ネンネしてる、
マミイ」って。「おなか、ちゆいたのかな

あ」って。楽しいですよねー。(笑)

——英語の教育なさってるんですか？

野中 いえ。ただマンションの中で日本
人は私たちだけなんです。1階のブレ
イルームは英語と仏語の子どもばかりで、
それを聞いてるから、「ぞうさん(の)、イ
ングリッシュ、なに？」とか質問します。



——いいですね、バイリンガルで育つて、
ところでおふたりめはごうなさいますか？
野中 それがね、親が子どもにしてやれる
最高の子孝行は兄弟を作ってやること
だっていいですよ。私も高校生のこ
ろは野球のチームを作れるくらい欲しい
って言っていて、それがバスケットになっ
て、テニスのダブルスになって(笑)。大
学院に行っているころにはもう「ボリン
グにしないさい、ひとりでできるから」っ
て友だちから言われてました。
——じゃあひとりで終わり？
野中 やっぱひとりっ子じゃかわいそ
うだと思っんですけど、もうひとりと考

えると、仕事の上でのつまらないものさ
しが出てくるわけですね。とくに濠洲
戦争の時なんかもう、ピーター・アネッ
トのCNNなんか見るとうずうずして
決まってるってはいけない言葉がのどまで
出かかるとですよ。この子さえいなか
ったら(笑) 私はどこで行ったのに。
——そうでしょうね。ジャーナリストの
血が騒ぐでしょうね。でもよくそんな中
で育児ノイローゼから脱出されましたね。
野中 第一には主人とのコミュニケーション
をよくとったことでしょうか。とに
かくよく話し合います。うちは。そんな
中で「そんなにうらかったら人を頼んだ
ら」って言われて、そんなのヤダー、こ
んな素晴らしいこと、人に任せちゃうな
んてもったいないノそう思ってますね。
——お子さんには何をいけば望まれま
す？
野中 健康であること。他人のいたみが
わかるやさしい心を持てる、そのふたつ。
——何になっても本人の自由？
野中 もちろんです。
——学校はどこかまったく考えない？
野中 ええ。だって東大出た連中が何し
てます？いま永田町や霞ヶ関で、証券会
社や銀行で。つまらない規格サイズの人
間になんかなくて欲しくないですね。ガ
ッツと健康な肉体さえあれば、アフリカ
の奥地で生きようと、アーティストになる

うと彼女自身が望むことであればそれは
彼女の選択ですし。

——でも子どもが大きくなるにつれて、
うちの子もみんなと同じにこうさせよう
ああさせなきゃって思う親も多いでしょ。
野中 それかも信じられないノみんな
と同じ人間を作るために、私は十月十日
も頑張ったんじゃないもの。(笑)それは突
飛な生き方を、という意味ではなくてね
彼女じゃないと味わえなかった人生みた
いなものを持って、彼女が死ぬ時に、「マ
ミー、サンキュー」って言ってくれれば
もうOKですね。

——自分の子どもの可能性っていうかす
べての子どもの可能性を信じてらっしゃ
るんですね。

野中 勉強にしろ何にしろ、例えば自分
で、「あっ、これはまずい、英語がしゃべ
れるようになりたいノ」とか本人が思え
ば歴史を迎えても充分にできるんですよ。
——一生チャレンジのチャンスがあると。

野中 悠久の流れの中のね、まばたきす
るくらい短い時代の価値感で、一回し
かない人生を決めてしまうなんてもった
いない。肩書きなんかじゃなく、「私は尾
関まりなです」と自分に自信を持って、
にこやかに言える人生を送ってほしいで
すね。

——ありがとうございます。